

10月8日、ゼミごとに74回生（2年生）のポスター発表会が行われました。今回の発表会では見学に来ていた75回生（1年生）からも多くの質問があり、有意義なものになりました。

～発表会の様子～

<公民ゼミ>

2年生中心に活発な質疑応答が行われたが1年生からの意見がもう少しあればよかった。発表自体は考察・提案の詰めが甘いため、これからはそこを重点的に行っていきたい。

<災害研究ゼミ>

発表中わかりやすくするための工夫が各班に多く見られ、全体的に質の高い発表となった。しかし1年生からは質問が少なかったためさらに発表に工夫があると感じた。また、研究が未完結の班が多いため今後も実験を重ねよりよくしていきたいと思う。

<地学ゼミ>

前半は質問をする人が同じになっていたが、1年生がよく質問していてよかった。「保水力」に着目した質問がとても意義があった。全体的に実験不足だったので次回までに数値を増やし、より説得力のある発表にしたい。

<家庭ゼミ>

2回発表を行ったため、1回目が出た質問を生かして2回目はより詳しい発表をすることができた。自分たちでは思いつかなかった質問がいくつかあったのでポスターや原稿を見直し、質の良い研究にしていきたい。

<保体ゼミ>

アンケートの取り方によって相関がみられるかどうか怪しくなってしまう、ということに関してはどの班も研究を見直すポイントになったと思う。学術研究Ⅲをとっている73回生（3年生）の発表は、グラフの見やすさや発表の時の堂々とした態度、研究のまとめ方、考察の仕方などが74、5回生のお手本となりうるものだった。

<数学ゼミ>

ゼミの雰囲気は堅く厳かなものだった。1年生からの質問も多く、質問時間が足りないほど発表での抽象的な発言やグラフについて聞かれ、2年生にとっても成長できるものになった。

<音楽ゼミ>

発表する班が少なかったため、より多くの質疑応答によって内容を深めることができた。また、担当の先生から細かくアドバイスをいただくことができた。



<情報ゼミ>

2年生からの質問は多く出たが1年生からのものはなく、1年生が興味を持っているようには感じられなかった。また、結論に結び付けるための資料、根拠の不足がみられる班や原稿を見ながら発表した人がいたなど改善点が見受けられた。

<国語ゼミ>

直前に発表の形式を変えたにもかかわらず、全員すぐに動いてくれた。積極的に質問する人も見られ、質問された側もまだ調べていないことに対して、これからの方針を交えて回答していた。質問が出なくても説明を捕捉しながら間を繋いでくれた。

<地歴ゼミ>

班によっては発表時間をオーバーしてしまうところもあり、発表することへの未熟さを感じた。また、質問によって新たな考え方が生まれるなど、有意義な時間になった。ポスターの改善点も多く見られたので、次回は改善して臨みたい。

<英語ゼミ>

英語での発表ということもあり、最初はなかなか質問が出なかった。研究内容をいかに分かりやすく伝えるかという点が課題である。発表者には単語をはっきり区切って発音したり、重要な部分を強調して話したりする等の工夫も見られた。



<物理ゼミ>

前半の発表ではあまり質問がなかったが、ゼミ長の声掛けで改善した。実験結果のグラフについての質問が多くあがり、各班のこれからの実験の結果などをポスターにどのように載せるかを考え直すきっかけとなった。

<生物ゼミ>

どの班もデータが詳しくまとめられており、内容の濃い発表となっていた。しかし、1,2年生の質問の量が全体を通して少なかった。各班実験の結果や考察などを推敲し、より良いものにしていきたい。

<化学ゼミ>

今回の発表会は全体を通してよい緊張感で臨むことができていた。1年生の質問としては、研究動機や用語についての質問が多く、どのような人に対しても分かりやすい発表が求められていることを痛感した。そのため、これらの点を改善し今後につなげていきたい。

編集後記

今回74回生は初めて75回生の前で発表を行いました。収穫となるものはあったでしょうか。発表を通じて得たものを研究に生かし、次回の発表では今回よりもさらにレベルアップできるように頑張りましょう。